

しょうがくせい 小学生～

●ストリートダンスクラス

かつどうび 活動日：12月8・15日（月）

クラブ費：700円

スイングキッズ

じかん 時間：午後4：20～5：00

たいしょう 対象：小学1年生～3年生



リルキャッツ

じかん 時間：午後5：10～5：50

たいしょう 対象：小学2年生～

せんせい やさ おし めぐりん先生が優しく教えてくれます。みんなで一緒に、楽しくダンスを踊ろう！

りょうはう ていいん 円万のクラスとも定員になりました。

あ 空きができましたら、お知らせします。

おむろじどうかんうんえいいいんかい ●個室児童館運営委員会

かつどうび 活動日：12月20日（土）

じかん 時間：午後4：00～4：40

じぶん きかく じどうかん 自分たちの「〇〇企画がしたい」「児童館をもっと楽しくしたい」などの思いをみんなで共有して、新しい企画や児童館のこと考えませんか？新規参加者も募集中！
きょうゆう あたら きかく じどうかん かんが 申込用紙に記入の上、児童館まで申し込みください。



●中高生会

「クリスマス会」

活動日：12月13日（土）午後5：00～7：00

参加費：500円

今月中高生会は、クリスマス会をします。みんなでご飯を食べたり、ゲームなどをします。参加したい中高生は児童館まで申し込んでください。

がんばるぞ☆
"((`・ω・'))"

●うたごえクラス

かつどうび 活動日：12月10・17日（水）

ごご 午後3：50～4：40

たいしょう しょがく ねんせい 対象：小学1年生～

ひ げがく えん クラブ費：月額300円



♪きどっちのアコーディオンに合わせての
おんがく がっきづく えんそう 音楽遊びや、楽器作り、演奏などをして
います。

しょうぎきょうしつ ●将棋教室

かつどうび 活動日：12月11日・25日（木）

ごご 午後3：50～4：40

しょうぎ せんせい こま うご かた おし 将棋の先生が駒の動かし方から教えてく
たいきょく つめしょうぎ おこ れます。対局のほかに、詰将棋なども行
なっています。

どうぶつ将棋などもありますので、ぜひ、
ともだち さそ あそ き お友達を誘って、遊びに来てください。



●きりえー

かつどうび 活動日：12月16日（火）

ごご 午後3：00～4：30

たいしょう しょがく ねんせい 対象：小学2年生～

つか カッターを使って、キャラクターやいろんな
さくひん はじ さんか 作品をつくります。初めてでも参加できます。はさみを使ってつくる「きりがみ」
ねんせい もしています。（1年生～）



乳幼児親子

のびのび



12月1・8・15日 (月)

午前10:45~11:45

対象：1歳児～就園前の親子

絵本の読み聞かせや遊具遊び、音楽遊び等の設定をします。15日は、身体測定と記念撮影を行います。

1日 クリスマス工作

8日 きどっちの音楽遊び

15日 お楽しみ会

みんなで楽しく遊ぼう！



きらきら

12月4・11・18日 (木)

午前10:45~11:45

対象：0歳児親子 プレママ・プレパパ

0歳児対象の玩具を用意しています。

11:20頃からは、ふれあい遊び等をします。18日には身体測定と記念撮影も行っています。

*11日は「きどっちの音楽遊び」を行います。音楽で楽しく遊びましょう！

乳幼児親子の広場



12月5・12・19日 (金)

午前10:30~12:00

対象：乳幼児親子

すべり台やトンネルなどの遊具を用意しています。いつ来てもOK！最後には、絵本の読み聞かせなどもあります。お母さん同士のリフレッシュの場にもなっていますので、遊びに来て下さいね。

ランチタイム

児童館でランチしませんか？

児童館では、お昼時間にランチタイムを設けています。乳幼児親子の広場が終わった後や、自由に遊びに来た日など、お昼ごはんを児童館で食べることができます。

お昼ごはんの後は遊具を使って遊んだり、お母さん同士のおしゃべりの時間として過ごしてください。

*電子レンジは使用可能です。

*乳幼児親子の取り組みが無い日でも、自由に利用出来ますので、いつでも遊びに来てください。

*各取り組みやイベントの情報は、ホームページやインスタグラムなどにも載せています。そちらもご確認ください。

しょうかい☆児童福祉 vol.112

令和7年3月に策定された「京都市はぐくみプラン<2025-2029>（京都市子ども・若者総合計画）」を紹介します。

1. こどもや若者にやさしい社会・まちをつくります（2）

Q：どうして社会・まち全体の話なの？

A：みんなが明るく幸せに暮らすためには、みんなの周りにいる家族や地域の人と一緒に暮らしやすい社会・まちをつくる必要があるからです。